

## 開催趣旨

ベテランから若手へ“つなぐ”——。自伐型林業の展開に欠かせない技術と経営手法を次世代へ継承するシンポジウムを企画しました。テーマは「持続的森林経営」です。

現在の日本の林業経営は、材価が低いために森林施業を放棄するか、あるいは経営破たんに至る場合もあり、持続性のなさが顕在化しています。また、現行林業の主体は請負事業体が中心で、森林経営よりも伐採業(素材生産業)に偏る企業経営が優先され、皆伐や過度な間伐、切り取り高や伐開幅が大きい作業道など環境負荷の高い施業が展開されています。

自伐型林業にとって、持続的森林経営は生命線です。経営の考え方、間伐の仕方や作業道敷設を間違ってしまうと、森林環境を悪化させ取り返しがつかない状況になりかねません。

本シンポジウムでは、経済性と環境保全を両輪にした持続的森林経営についての基調講演と、それを実践し始めた全国の若手らの報告、そして教えている講師たちのパネルトークを行います。これから林業に参入したい方、これまでの林業に疑問を持つ方など、多くの参加をお待ちしています(当日はネット中継を予定。詳細は自伐協ホームページへ)。

## プログラム

1. 話題提供 「持続的森林経営は自伐の中にあり」  
中嶋 健造 (NPO法人 自伐型林業推進協会)
2. 基調講演 「持続的森林経営をどう展開するか」  
岡橋 清隆 (清光林業株式会社)
3. 若手による現場からの報告  
宮崎 聖 (高知県) 秋山 梢 (高知県) 大谷 訓大 (鳥取県)  
川端 俊雄 (高知県) 中島 大輔 (東京都) 阿部 晃成 (宮城県)  
ほか
4. パネルトーク「師匠から若手への継承」  
岡橋 清隆 (奈良県) 橋本 忠久 (徳島県)  
森田 哲爾 (奈良県) 菊池 俊一郎 (愛媛県)  
佐藤 宣子 (九州大学大学院教授)
5. 特別コメント「林業は変わりつつある」  
月尾 嘉男 (東京大学名誉教授)



# 「持続的森林経営」の継承 自伐がつなぐ林業新時代

日時

シンポジウム  
2016年  
3月22日(火)  
13:40~16:40  
(受付 13:20~)

会場

新宿文化センター 小ホール(200名収容)  
東京都新宿区新宿6-14-1



参加費・申し込み

無料

※ 当団体ホームページの参加フォーム、またはファックスに参加予定者の氏名と連絡先を記して申し込み下さい。

自伐協HP <http://jibatsukyo.jimdo.com/>

問い合わせ

NPO法人 自伐型林業推進協会(事務局 上垣)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田1-9-19-207

電話: 080-4347-8985 ファックス: 047-702-8312 メール: [jibatsukyo@gmail.com](mailto:jibatsukyo@gmail.com)

主催



特定非営利活動法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

後援 早稲田大学環境総合センター W-BRIDGE

W-BRIDGE

※ 本事業は「W-BRIDGE」の研究活動受託を受け実施いたします。